

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.252

今月の特集

①教材活用シリーズ

資料集×GIGA端末で学びが“もっと”豊かになる(P.6~7)

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2026.4.25 Vol.252 (total 1881号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

これからの学校用教材の三つの視点

第37期学校教材調査会英語科専門委員
東京家政大学人文学部教授

太田 洋



時代の要請に沿って求められるものが変わる中、これからの英語の学校用教材のポイントを三点述べたいと思います。

第一に、活用できるための例文を載せることです。教科書のターゲットセンテンスについて形や意味と共に、どのような場面や機能で使われるのかがわかる豊富な例文が必要です。「こういう場面で使うんだ」と思わせる例文を載せることが、活用への第一歩になります。例文は使う姿を想像させるものであってほしいと思います。

第二に、分散学習を支えることです。英語の学習には導入後の繰り返し返しが大切です。導入された単元のみで繰り返し返すより、間隔を空けて繰り返し返す分散学習が効果的です。ところが、それを授業で先生が計画することは簡単ではありません。そこで学校用教材の出番です。様々な文を間隔を空けて繰り返し返すことができる教材は、先生を大きく助ける存在になります。中学校で

は、小学校で習ってきたことを繰り返すことが大切であり、その橋渡しを学校用教材が担う意義は大きいと感じます。

第三に、単元末の活動を行うための手助けをすることです。単元末の活動に向けて、そこまでの授業をどう組み立てていくかに、先生方は苦戦しています。どのページに戻るのか、既習事項をどう使うのか、モデルをどう与えるのかなど、先生が多様な生徒を相手に、授業で組み立てるのは容易ではありません。単元末の活動への道筋を具体的に示し、先生の役割を補う学校用教材が、これから一層求められるのではないのでしょうか。

このように、これからの学校用教材には、学習の活用を促し、繰り返し返しを支え、活動への見通しを与える役割が求められます。授業の現場で本当に役立つ教材とは、先生をサポートし、生徒の学びを確かに前へ進める教材です。

日・全教育政策の大きな転換をふまえ、

学校用教材の価値と役割を改めて問い直し、

学校による主体的な教材採択の重要性を発信

文部科学省との連携を一層強化

次期学習指導要領改訂協議や教科書の制度改正、教育DXの推進など、教育政策が大きく変わるなか、日本図書教材協会、全国図書教材協議会では、文部科学省（文科省）との関わりをさらに深め、学校用教材の価値・役割を発信し続けていく。

ここでは、最近の文科省との関わりとして、文科省の有識者会議との関係を紹介する。

◇文科省「デジタルな形態を含む教科書の発行・採択等の指針に関する検討会議」への委員参加

文科省では、デジタルを含めた新しい教科書の指針策定のための検討会議「デジタルな形態を含む教科書の発行・採択等の指針に関する検討会議」を立ち上げ、4月10日に第一回会合を開いた。日図協では、文科省からの要請を受けて、森達也副会長（教育同人社社長）が教材業界を代表して本会議の委員として参加している。

会議では、デジタルな形態を含む新たな教科書の円滑な導入に向けた主な論点（案）として、発行・採択の在り方の検討のほか、次の論点

・これまでの教科書代替教材の活用実績や実証研究から窺われる、学習への使用における紙・デジタルの特性をふまえて、紙が効果的な学習場面、デジタルが効果的な学習場面についてどのように考えるか。

・次期学習指導要領における基本的方向性として示されている教科書の在り方（内容の精選や教材との役割分担）を実現するために、デジタルな形態を含む新たな教科書の導入に合わせて、教科書の発行者と採択権者双方にどのようなことを示していくか。また、その上でデジタル教材との円滑な連携をどのように確保していくか。

についても議題として予定されており、今後、日図協としては、学校用教材の立場から、教材の価値・役割の理解につながるような提案をしていくことになる。

◇学習eポータルに関する運用指針等を盛り込んだ、「初等中等教育におけるシステム間連携のための相互運用標準モデル Ver. 6.001」策定と公開

国の事業である学習eポータルの技術・運用



新しくおぼえる
ローマ字ドリル
hoshi tsuki
ローマ字改定に対応
日本標準

ローマ字表記の改定に完全対応

楽しくおぼえる
新ローマ字ドリル NEW!!

へボン式を基本に「し」を「shi」、...
のぼす音の符号も「-」と表記。...

1

練習回数
なぞり→(読み)→書きの2回

2

ローマ字のことばの数
授業時間でやり切れる数に厳選

3

ゆとりのあるレイアウト
見やすく、書きやすい紙面を実現

4

子音に始点がある
書きはじめがわかりやすい

A4判 / 24ページ / ローマ字入力下付き・「たしかめよう」プリント付き 定価 320円(学校納入定価)

すべての子どもに学力を生きる力を

日本標準 埼玉県日高市下大谷沢91-5 TEL:042-984-1461(営業) / 042-989-2507(編集) <https://nipponhyojun.co.jp>

全図協 販売管理システムのご案内

- ▶ 「図書教材ネット」と連動して、発注データを自動取り込み
- ▶ 納品書や請求書、売上明細などを一瞬で作成
- ▶ 複雑な売上・入金処理も簡単に管理

<お問い合わせ先>

一般社団法人全国図書教材協議会・事務局 (TEL 03-3267-1041) までお願いします。

業務の
効率化を
支援!

① 学習eポータルの公共性を担保すること
② 教材の販売・提供方法について、教材会社側が主体性を持つての仕組みとすること
③ デジタル教材の提供にあたって、学習eポータルへの搭載を必須条件とせず、多様な提供形態に配慮すること

その結果、昨年度(3月末)に公開された標準モデル Ver.6.00では、当方の提言が反映されたことに加え、昨年末に公正取引委員会が学習eポータルに関する事業者間の公正な競争環境の重要性を示したこともあり、運用指針の記載は、公共性を担保する方向へと大きく前進している。

3月4日

日 中学校営業部長会を開催

中学校営業部長会(幹事長・杉山陽介正進社営業部長)では、第3回部長会を京都市「(株)新学社会議室」で開いた。

当日は、教育現場のICT化への対応、子どもたちのみらいの学びを支えるプロジェクト、プロジェクト、プロジェクトからの要望事項に対する回答文書案、出版社営業社員研修会企画、次年度都道府県協会担当出版社案について協議した。



中学校営業部長会

3月8日

学 東北・北海道支部 総会・研修会を開催

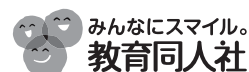
日本教材学会東北・北海道支部(支部長・樺沢公一北海道教育大学准教授)は、総会及び研



全ての子どもに、もっと教育を

～公教育支援のパイオニアとして、社会の未来を創ります～

私たちがめざす理想は、全ての子どもにもっと質の高い教育を届けることです。
教育は子どもたちを成長させ、社会の未来を創ります。
教育によって日本の未来を幸せにしたい、世界の未来を幸せにしたい。
私たちは今後も同じ志をもつ人たちと集いながら、
『全ての子どもに、もっと教育を』の理念を追求し続けます。



研究会をオンライン形式で開催した。

研修会は、「情意・感性を育む教材―算数・数学科を中心に―」をテーマとし、宮城教育大学の花園隼人准教授を講師に迎えて実施した。講演では、新しい教育課程で育成すべき資質・能力の議論において注目されている「情意・感性」に焦点を当て、算数・数学教育に「数学の美」を導入する意義と課題について論じるとともに、教科特有の感性をどのように捉え、育成していくかについて、具体的な教材例を交えて解説がなされた。

これを受けて参会者からは、現行の教育課程で重視されている学習過程との関連や、教科特有の感性をどのように発揮させ、把握するか、さらに数学における美や感動の経験が学習者の理解や学習意欲にどのように関わるのかといった点について、学校種の枠を越えた活発な質疑・意見交換が行われた。その結果、教材づくりや授業づくりを考える上で、多くの示唆が得られた。

3月10日

回 小学校営業部長会を

開催

小学校営業部長会(幹事長・森田祐樹 日本標準営業部マネージャー)では、第3回部長会



小学校営業部部長会

を「協会会議室」で開いた。

当日は、ネット直売対策を含めた教育現場のICT化への対応、ブロック小学部会長との協議事項に関する報告文書案、次年度都道府県協会担当出版社案について協議した。

3月15日

学 東海・北陸・近畿支部 総会・研究会を

開催

日本教材学会東海・北陸・近畿支部(支部長・郡司賀透 静岡大学教授)は、総会及び研究会を、静岡市の静岡大学教育学部を会場とし、オンラインを併用したハイブリッド形式で開催した。

研究会は三部構成で実施された。第一部では、大学院生による口頭発表3件と大学教員による口頭発表2件が行われた。第二部では、静岡県藤枝市の理科サークルSCIENTIA(スキエンティア)を招き、理科教材及び実験に関するワークショップを実施した。第三部では、東海学園大学の中村泰輔准教授による講演「科学的探究の本性(NOST)を視野に入れた理科教材」が行われた。

以上のプログラムを通して、研究会は盛会のうちには終了した。

3月26日

回 小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会(幹事長・矢田恵理子 日本標準取締役企画編集部マネージャー)では、第6回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請、教育行政の動向や教材の在り方、生成AIへ

6年間保証

6年生まで使えます

全てのセットに入っています!

用具のつかい方
おたすけカード

ふきとり布

小学校図書教材・教具の総合メーカー **青葉出版** TEL.084-923-4440 (代) FAX.084-931-9351 (代) <https://www.aob.co.jp/>

2025年度 拠出金一覧表 (中学校後期)

(円)

協会名	拠出金額	協会名	拠出金額
北海道	34,736	奈良	7,163
青森	41,437	大阪	10,202
岩手	8,454	和歌山	16,912
秋田	22,382	兵庫	22,920
山形	52,141	広島	33,197
宮城	18,815	鳥取	13,234
福島	21,728	島根	18,377
茨城	36,337	山口	76,573
栃木	20,561	徳島	21,529
群馬	53,310	愛媛	14,825
埼玉	47,767	高知	3,718
千葉	72,798	福岡	64,937
静岡	31,691	佐賀	3,778
三重	52,988	長崎	6,222
長野	81,523	熊本	8,652
新潟	9,717	大分	30,284
富山	13,560	宮崎	6,176
石川	18,700	鹿児島	6,524
福井	9,464	合計	1,016,590
京都	3,258		

の対応、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応、日本教材学会との連携や共同での研究テーマ等



小学校編集部長会

について状況確認と検討を行った。

全拠出金

2025年度中学校後期分を集金・納入

2025年度中学校拠出金の後期分が加盟8社(五ツ木、学宝、同人、秀学、新学、正進、東法、浜島)より集金され、101万6、590円納入された。昨年比べ増加している。事務局より各協会へは小学校2・3学期分とまとめて5月に送金する予定である。

* * *

21世紀に求められる資質・能力の育成に

認知能力検査

教
研
式

NINO

対象：小学校 2年/3年/4年/5年/6年 中学校 1年/2年/3年
定価：用紙 275円/診断料 285円

- 各教科の学習を進める上で必要となる教科横断的な力(認知能力)を測ります。
- 「活用力(思考力)」の育成に役立つ効果的な資料をご提供します。
- 「学習に向かう力(メタ認知や協働性等)」についてのアンケートを用意しています。

学びたい先生を応援する教育誌

季刊 指導と評価

「指導と評価」は、日本教育評価研究会(会長 石田恒好)の機関誌です。昭和30年4月に創刊号発刊以来、長年にわたって、教育評価の専門誌として刊行されてきました。

「指導と評価」を講読ご希望の方は、日本教育評価研究会に入会の申込みをしてください。会員の方に「指導と評価」を年4回送付いたします。

B5判/年4回発行 年間会費 3,920円(送料込)

教材活用シリーズ 第187回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介いたします。

資料集×GIGA端末で
学びが“もつと”豊かになる

(株)浜島書店
社会科資料集
「資料で探究eポートフォリオ」



(株)浜島書店 編集部
社会科担当

「資料で探究eポートフォリオ」（以下eポートフォリオ）は、2025年度発刊の中学校社会科資料集（『学び考える歴史』『アクティブ地理』『新しい公民』）で提供を開始したサービスです。

浜島書店の資料集は、学習者向けに厳選・最適化された資料を掲載することで、これまで先生方から高い評価をいただけてきました。

近年、学校現場では「生徒が自ら調べ、課題を探究する」授業が広がっています。また、「**単元をつらぬく問い**」を設定して学習の見通しを立て、振り返りを行う授業も、ますます盛んになってきました。そのようななかで私たちが耳

にしたのが、「**根拠をもって自分の考えを示して欲しい**」「**信頼のおける資料で探究して欲しい**」という先生方のお声です。資料集の確かな資料を活用し、生徒が自分の考えをまとめることができる新ツール、それがeポートフォリオです。

以下、使い方とその効果について、簡単に紹介します。

1. eポートフォリオの使い方

本企画は、教師用サービス「浜島Webサポート」にご登録いただくことで使

用が可能となります。先生方がWeb上でシートのひな型を作成し、生徒にURLを共有すれば、個人端末での利用が始まります（図1）。

なお、生徒が作成途中のシートは自動的に保存されますので、複数の時間をまたいでシートを完成させることが可能です。完成したシートはPDF化して、Google Classroom等の協働学習システムで提出することができます。

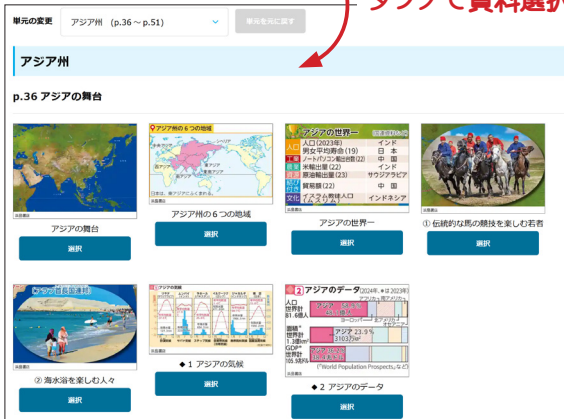
2. 資料集掲載の資料が簡単に使える！

本企画最大の特徴は、資料集に掲載されているグラフや図・写真を、**ワンタッチで簡単に貼り付けることができる**点です。画面上の「選択」

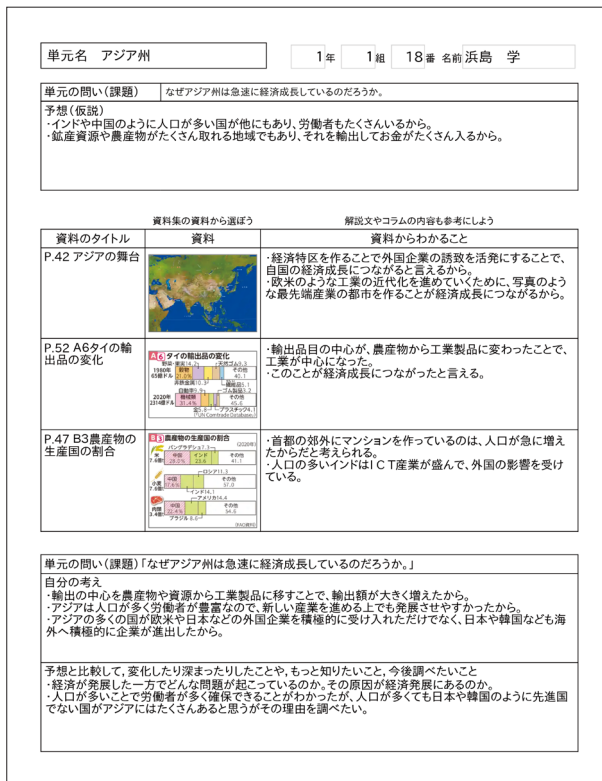
〈図1〉ひな型作成画面
単元の問いを設定し、生徒にURLとパスワードを共有。各単元にサンプルの問いもご用意しています。



タップで資料選択!



〈図2〉資料選択画面



〈図3〉eポートフォリオ記入例

「資料で探究eポートフォリオ」は、こちらの二次元コードからお試しいただけます。ぜひご活用ください。



3. 観点別評価に活用できる!

ボタンをタップすれば、該当ページの資料一覧が確認できます。こちらで選択した資料のタイトルとサムネイルが、シートの空欄に自動で貼り込まれます(図2)。外部資料の貼り付けも可能になっていますので、先生方や生徒が自分で用意した資料を組み合わせることもできます。

- ・ 予想(仮説)
- ・ 資料からわかること(最大10個)
- ・ 単元の問いに対する自分の考え

本シートの生徒入力欄は、以下の通りです。

・ 予想と比較して、変化したり深まったりしたことや、もっと知りたいこと、今後調べたいこと

ひとつのシートで、最大10個の資料を選択・読解しながら、自分の考えを組み立てていく構成になっています。学習履歴を可視化することで、先生は生徒の考えの変容を見取り、生徒は授業での学びを振り返ることができる点が、このシートのポイントです。

このように、eポートフォリオは資料を読み解く力(知識・技能)、根拠をもって自分の考えを書く力(思考力・判断力・表現力)、学習の見通しを立て、調整する力(主体性)のすべ

4. 結びにかえて

これまでの資料集は、「先生が授業中に提示して解説」という活用スタイルが一般的でした。本企画は、従来の使い方に加えて「生徒が自分で学びに使う」ことを目指し、立案されたものです。授業の変化に合わせて、資料集も進化していきます。eポートフォリオの活用で、授業での学びがより豊かなものになることを願っています。

てを活用して完成させていくシートです。先生方にとっても、観点別評価の参考材料として活用可能な成果物になることと思います(図3)。

各種制度のご紹介

全図協では、販売店の経営や業務に関わる制度をご提供しています。
ここではそれぞれの制度の概要を簡単にご紹介します。



◆従業者が事故で入院してしまった…

生命共済制度

- ・従業者1人ずつ無審査で加入ができます
- ・死亡や障害、事故による入院時に保険金・給付金を支給します
- ・剰余金が生じた際は、配当金として返還します



3つ揃えば自社の経営や業務も安心！！

◆台車で校舎を傷つけてしまった… 搬入中に子どもにケガを負わせて しまった…

総合補償制度

- ・学校内で生じた対人・対物事故と、集金時や事務所に保管していた現金盗難に対する制度です
- ・図書教材に限らず、学校へ納入したすべての商品に関わる事故を対象としています

◆従業者の福利厚生を充実させたい… 優秀な人材を確保したい…

福利厚生制度

- ・グルメや旅行、スポーツクラブなどさまざまなサービスを取り揃えています
- ・従業者だけではなく、ご家族も同条件でご利用いただけます
- ・全図協特例割引適用で通常会費より10%お得！

各種制度に関するお問い合わせ・お申し込みは、全図協事務局までお願いします。
 なお、詳細は協会ホームページ (<https://nit.or.jp/>) の会員ページ (パスワード: kagura6) にパンフレットのデータを掲載していますので、そちらもご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み先 ⇒ TEL 03-3267-1041 担当：宍戸、岡嶋

編集後記

新しい年度になり、子どもが新学期からまた使うのだと、植木鉢と支柱のセットを小学校に持っていききました。1年生の時にはアサガオ、2年生の時にはミニトマトを育てて、家に持って帰ってきてからも世話をしています。3年生の今年は、何を育てるのか、今から楽しみにしています。

以前、学校教材調査会の折に、小学校の先生のお話をお伺いする機会がありました。学校で教材として購入している植木鉢のセットは、耐久性が高くて何年も使えるのがよい、同じような見た目で安いものを買えばいいという話も出て試してみたが、脆くて複数年使うことができず先生が困ってしまった、値段ではなくてどう使うのかで必要なものを選ばないといけない、と仰っていました。これは植木鉢に限らず、とても大事な視点だと思いました。(み)

〓 都道府県協会 会員だより 〓

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆
 〈商号変更〉

沖縄県…宮古文溪堂(宮古島市)

↓教材のタイラ

☆退会社☆

埼玉県…(有)鴻文堂書店(鴻巣市)

長野県…オグチ教材(諏訪市)